

研究課題：小児頭蓋骨骨折の特徴と治療方針

1. 研究の目的

子どもの脳や神経の外傷（外傷性脳損傷）を治療するためのガイドラインや小児の集中治療室（PICU）の整備により、子どもの外傷性脳損傷の治療成績は徐々に改善しつつあります。頭蓋骨骨折は救急外来で頻繁に遭遇する病態と知られていますが、その詳細に関する検討は殆ど行われていません。また開頭術などの手術が必要となる場合に認められる、身体上の特徴やその詳細について不明な点も多く、明らかではないのが現状です。本研究では、頭蓋骨骨折の子ども様を対象として後方視的に診療録の調査を行います。

2. 研究の方法

2016年1月～2022年10月までの期間、頭蓋骨骨折と診断された患者様が対象となります。診療録から診断名、治療、入院検査値等の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2022年11月（倫理委員会で承認を得られた日）から2023年3月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

入院時の情報と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外傷診療科 科長 荒木 尚

研究分担者：救急診療科 科長 植田 育也

研究分担者：集中治療科 科長 新津 健裕

研究分担者：脳神経外科 科長 栗原 淳

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とは致しませんので、2023年3月31日（※倫理委員会承認月から3～6ヵ月後にしてください）にまで下記の連絡先へお申出ください。患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）